

2020年度 第3四半期 決算のご説明

(2020年4月1日～12月31日)

市場は順調に回復、3Q単独は黒字に転換

2021年1月28日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 榎尾 欣司

Value by Connecting HTK



1. 累計20/3Qの実績

中国の生産活動の活況や自動車市場の回復を受け
コネクタ事業が復調、3Q単独は黒字に転換

単位:百万円、()内利益率

	19/3Q 累計	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/3Q 累計	前年 増減率	通期予想
売上高	11,318	3,120	3,630	3,883	10,634	▲6%	14,500
営業利益	208 (1.8%)	▲194 (▲6.2%)	▲44 (▲1.2%)	5 (0.1%)	▲232 (▲2.2%)	-	0 (0.0%)
経常利益	233 (2.1%)	▲63 (▲2.0%)	▲32 (▲0.9%)	19 (0.5%)	▲75 (▲0.7%)	-	120 (0.8%)
純利益	148 (1.3%)	▲53 (▲1.7%)	▲12 (▲0.3%)	19 (0.5%)	▲46 (▲0.4%)	-	50 (0.3%)

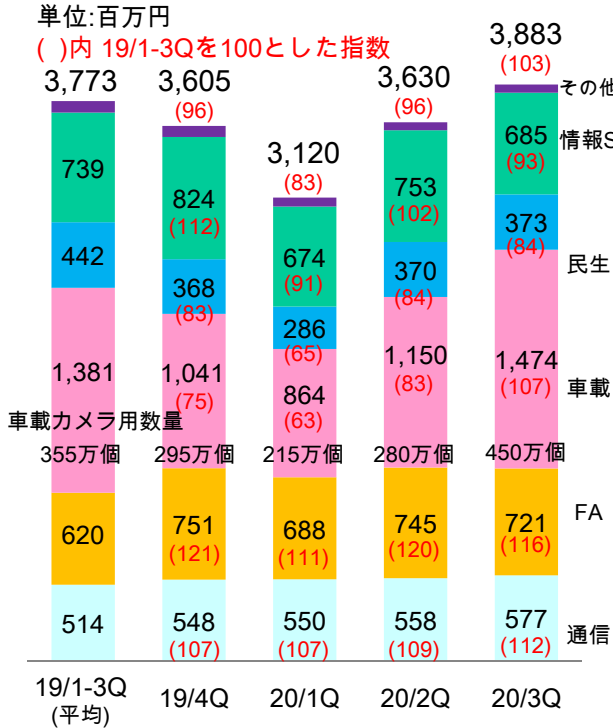
◆為替(期中) 1\$=109円 108円 106円 105円 106円 106円
(期末) 1\$=110円 108円 106円 104円 104円

Value by Connecting HTK



2-1. 20/3Q 分野別販売状況

車載・FA・通信が牽引し、コロナ前の水準に回復

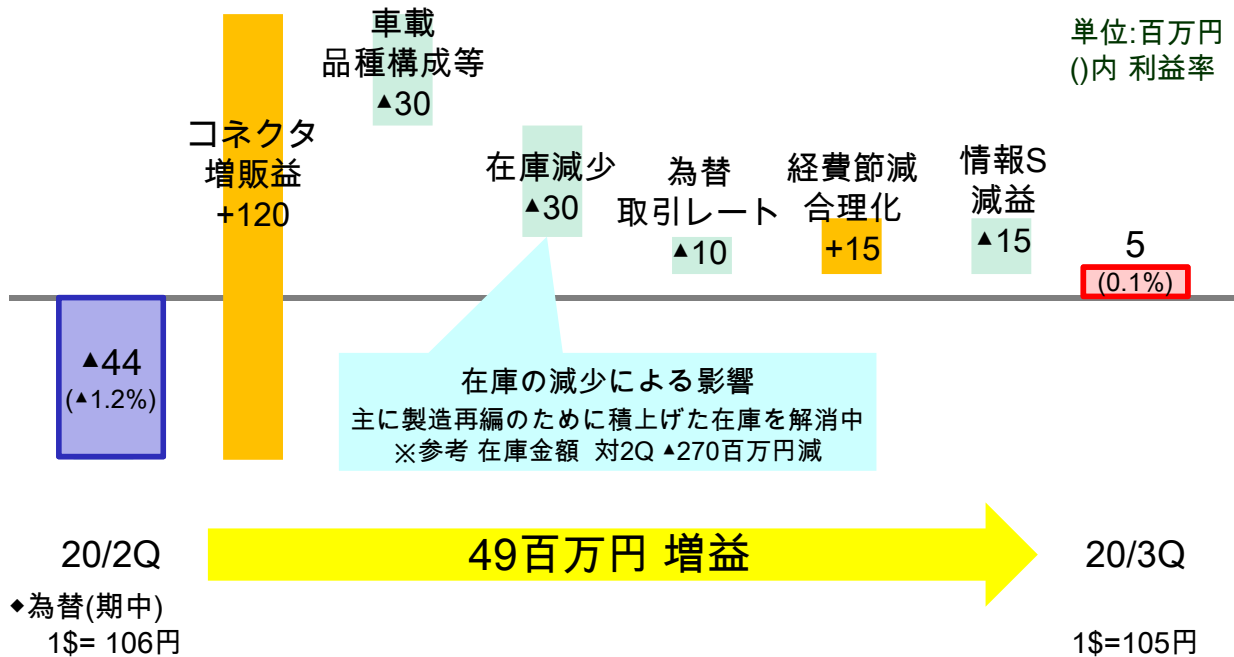


- コロナ禍により民間プロジェクトが停滞
各市場によって回復はまばら
- 機器によって好不調が分かれる斑模様
プロジェクト・DSC向け低調で前年割れ
- コロナ前の水準まで想定より早く回復
次世代デジタルカメラ用の納入が本格化
- 3Q前半は調整局面、中国の設備投資の
状況により後半から回復
- ICT/5Gインフラ投資活況で堅調に推移
FTTH向け光コネクタの受注が好調



2-2. 20/3Q 営業利益分析(20/2Q比較)

コネクタ事業の復調で黒字化
在庫の消化/品種構成/為替が利益を押し下げ

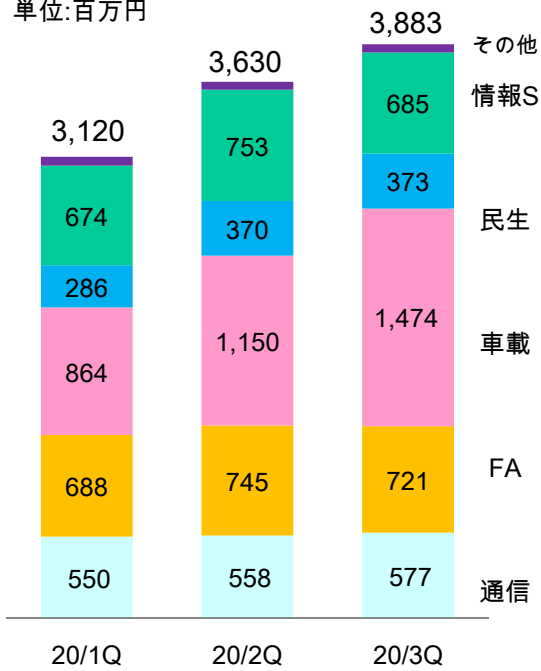




3. 20/4Q 分野別見通し

産業(通信/FA分野)を中心に伸長の見込み
車載分野は半導体供給不足の影響が不透明

単位:百万円



4Q動向

- その他情報S** → 季節要因で増販も市況は好転せず Society5.0/DX等の新規案件に期待
- 民生** → PC向けが好調に推移 プロジェクタ・DSC向けは低調継続
- 車載** → 回復基調は継続も半導体供給不足による顧客の生産調整を懸念
- FA** → 旺盛な需要を背景に顧客が増産体制 半導体製造設備の需要拡大に期待
- 通信** → テレワーク需要の継続や5G拡大で ICTインフラ投資が堅調に推移



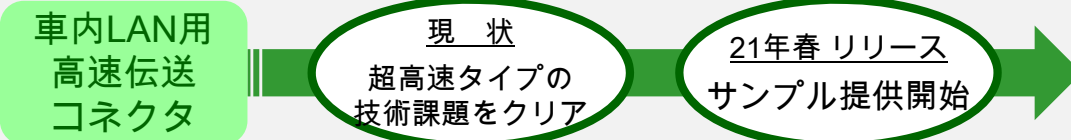
4. 車載用コネクタの取組み

自動運転を睨み、先端商品の開発と収益力強化に取り組む



次世代モビリティへの取組み

- 車載カメラ用コネクタ**
 - 次世代 → 次世代デジタルカメラ用の量産が本格化、合理化に注力 現状 10万個/月 → 21年度 25万個/月
 - 水平展開 → 21年度～新OEM/車種への納入スタート
 - 合理化 → ベトナム移管完了、20/4Q～生産スタート 21年度からの合理化効果を見込む





HTK

IRに関するお問い合わせ先

本多通信工業株式会社
経営企画グループ

MAIL : ir@htk-jp.com TEL : 03-6853-5820

URL : <https://www.htk-jp.com/>

Value by Connecting **HTK**



参考.コネクタ事業 連結受注推移

単位:%

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2020年度 前期比	-10	+11	+34	-	-
前年同期比	-18	-8	+27	-	

1\$= 108円 106円 105円

2019年度 前期比	+4	-1	-3	-4	-14
前年同期比	-20	-16	-12	-5	

1\$= 110円 107円 109円 109円 109円

実勢為替レートで算出

Value by Connecting **HTK**